

＼「ハイルダケ」の拡張デモ展示／

プライバシー保護に配慮しながら 3 次元の遠隔コミュニケーションを体験

11/24 (金) ～12/4 (月) @グランフロント大阪・ナレッジキャピタル The Lab.

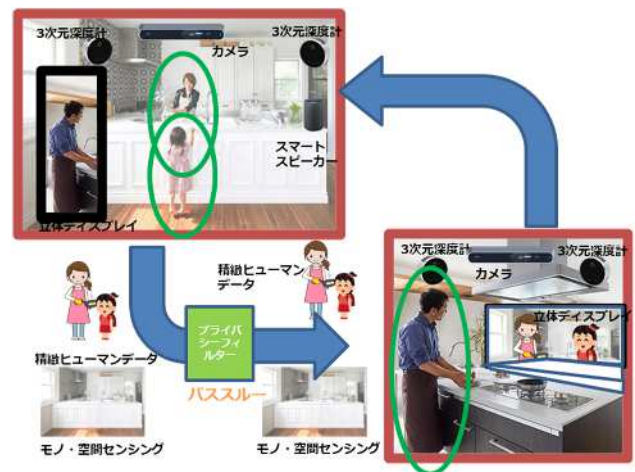
❖ 概要

大阪大学大学院情報科学研究科 山口弘純教授は、11 月 24 日（金）～ 12 月 4 日（月）に、グランフロント大阪ナレッジキャピタル The LAB. において「3 次元のセンサを活用した遠隔空間の共有システム」を特別展示します。The LAB. で常設展示している LiDAR を用いた人の動きの可視化システム「ハイルダケ」の拡張展示です。

コロナ社会の経験を経て、人々のコミュニティ維持や心のつながり形成のための遠隔コミュニケーション技術が一層重要となってきています。特に近年の VR（仮想現実）や AR（拡張現実）技術の発展により、遠隔の人々が存在する物理空間を常時センシングし、精緻な空間データを仮想空間に持ち寄ることで互いの存在をシームレスに知覚する空間共有の実現などが期待されています。しかし、空間把握のためのセンサーデバイスが取得するデータは、各人のプライバシー要求を反映しながら共有されることが大前提です。

今回、空間内の人や物を自動で認識し、それを遠隔地の人と共有できる 3 次元空間共有システムを開発しました。ユーザーはタブレットを通じて、自分の空間内にある物をどのように表示するか、どの情報を共有するかを制御することができます。これにより、プライバシーに配慮した形でリアルタイムのコミュニケーションが実現します。「ハイルダケ」の拡張展示では、最新の 3 次元センシング技術とプライバシー保護を同時に体験することができます。

つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。



● イベント概要

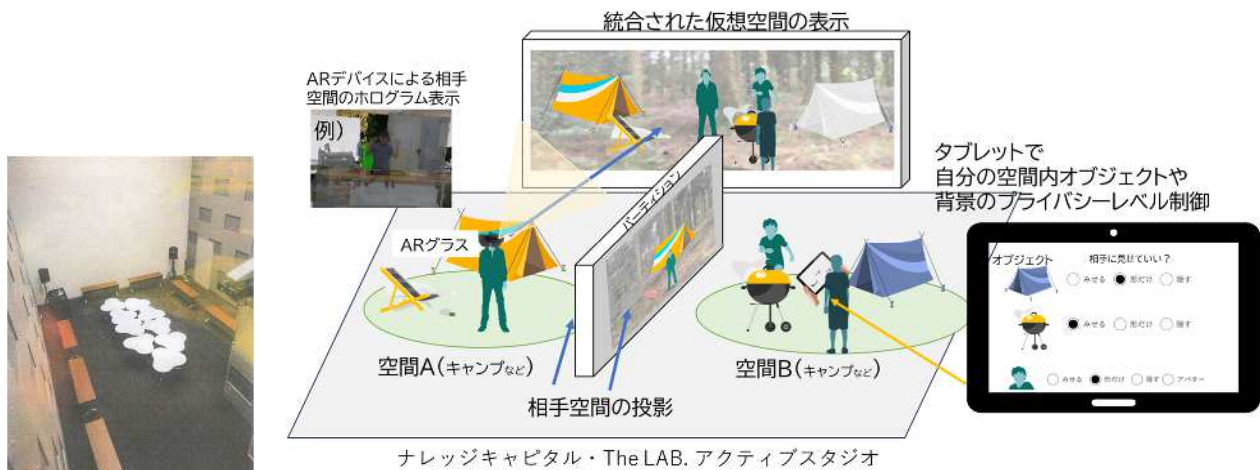
デモ展示では The LAB. のアクティブスタジオに疑似的に 2 つの空間を用意し、遠隔共有システムを使って相互のコミュニケーションを体験できます。

【日 時】 11 月 24 日（金）～ 12 月 4 日（月）
毎日 10:00～16:00

【場 所】 グランフロント大阪・ナレッジキャピタル 2F The LAB. アクティブスタジオ

【主 催】 大阪大学データビリティフロンティア機構 / 情報科学研究科・モバイルコンピューティング講座・山口研究室

Press Release



- ❖ 本システムは NICT（情報通信研究機構）からの受託研究により開発されたものです。
開発課題名：ウイルス等感染症対策に資する情報通信技術の研究開発 課題C アフターコロナ社会を形成する ICT
副題：新生活様式におけるコミュニティ形成のためのサイバーフィジカル空間共有基盤

❖ 担当教授

山口弘純(やまぐち・ひろずみ)



大阪大学大学院情報科学研究科情報ネットワーク学専攻 教授。モバイルコンピューティングに関する研究に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員。平成 19 年情報処理学会長尾真記念特別賞、平成 22 年情報処理学会創立 50 周年記念論文賞、平成 26・30 年情報処理学会論文賞、平成 16・24・28 年電気通信普及財団テレコムシステム技術賞など。平成 30 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(研究部門)。

❖ 「ハイルダケ」ひとなびの特徴

今回の展示は The LAB.において大阪大学データビリティフロンティア機構が主催となって常設展示している「ハイルダケ」の拡張展示です。ひとなびとは、大阪大学大学院情報科学研究科 山口教授らが開発した、LiDAR と呼ばれるレーザー光による検知・測距センサーを用いた、人流計測システムの名称です。監視カメラなどとは異なり、プライバシーに配慮しながら人の動きを計測し、可視化することができます。今回のデモではひとなびの 3 次元の空間認識技術を拡張することにより、空間内の人やモノの属性を高精度に認識し、体験者がプライバシーフィルタリングできるようにしています。

